

競技概要(千葉予選)

【競技方法】・18ホールストロークプレー

【予選通過】・プロ48位T、アマ14位Tまでが6月12日決勝大会予選ラウンド出場権を得られる

【使用ティ】・男子プロ・研修生、男子アマは**バックティ**使用
・シニア(満50歳以上)の男子プロ・研修生、男子アマは**レギュラーティ**使用
・女子プロ・研修生、女子アマは**フロントティ**使用

【使用球】・アマチュア競技者の使用球は、公認球であれば、同一銘柄、同一種類の球でなくても良い。
尚、決勝大会において競技者(プロ、アマ問わず)の使用球は、公認球で同一銘柄同一種類の球でなければならない。

【その他】・距離計測機の使用を可能とする(GPS機能及び、高低差機能付きは不可とする)

【競技規則】・アウト・オブ・バウンズの境界は、白杭をもって標示とする。
・修理地の区域は、青杭または白線をもってその限界を標示する。
・ラテラル・ウォーター・ハザードは、赤杭または赤線をもってその限界を標示する

・排水溝、樹木の支柱、球止めおよび防護ネット、U字溝、生垣を除く垣根、舗装された道路等は、動かさない障害物とする。

・樹木保護の為の巻物施設は、樹木の一部とみなす。ただし樹木の巻物施設に球が挟まった場合は、罰なしに球を取り上げて(取り戻せない場合は別の球で)その球の真下の地点から1クラブレンジス以内で、かつホールに近づかない箇所にドロップすることができる。(拾い上げた球はふくことができる)

・スルー・ザ・グリーンにおいて、球がその勢いで自ら地面に作った穴(ピッチマーク)に食い込んでいるときは、その球は罰なしに拾い上げて拭き、ホールに近づかず、その球のあった箇所にできるだけ近いところにドロップすることができる。ドロップの際、球はスルー・ザ・グリーンのコース上に直接落ちなければならない。

・ホールとホールの間では、練習ストロークをしてはならない。ただし、ハーフトーン時のパッティング練習のみ認める(練習場及びアプローチ練習は禁止)

・プレー中にて処置について疑問がある場合は2つの球をプレーしてそのホールを終えることができる。その際スコアカードを提出する前に、競技委員に報告しなければならない。